

## § 2 人口動態の概要

### 表 7 出生率の推移

平成22年の出生数は、14,292人、出生率は、人口千対10.4で各都道府県・指定都市と比較すると、本市より高いところは、1県（沖縄県）のみと、全国的にも高いところに位置している。各区の出生率をみると、幸、中原、高津が全市の10.4を上回っている。

	平成12年	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
総 数	11.0	11.0	10.9	10.4	10.4	10.0	10.5	10.6	10.7	10.4	10.4
川 崎	8.8	9.4	9.4	8.9	9.0	8.6	9.3	9.3	9.0	8.6	8.8
幸	10.1	10.6	10.2	9.4	9.8	9.7	10.4	10.2	10.8	10.5	11.1
中 原	12.0	11.6	11.5	11.5	11.3	11.0	11.4	11.8	12.2	12.1	12.0
高 津	12.2	11.8	11.9	11.5	11.8	11.1	11.8	11.4	11.6	11.4	11.2
宮 前	12.3	12.3	11.9	11.2	11.4	10.7	10.7	10.8	11.2	10.5	10.0
多 摩	11.6	11.4	11.0	10.7	10.5	9.9	10.0	10.7	10.3	10.3	10.3
麻 生	9.1	9.8	9.5	8.8	8.5	8.1	9.3	9.2	9.2	9.2	9.1

注) 出生率の算出に用いた日本人人口は住民基本台帳に基づくものであるため、厚生労働省の公表値とは異なる。

資料：庶務課 「人口動態調査」より

### 表 8 再生産率の推移

出生率は、昭和46年以降減少傾向を示してきており、再生産率をみると、年齢階級別の合計である粗再生産率（合計特殊出生率）では1.32、また、女子だけの年齢階級別出生率の合計である総再生産率は0.64と、将来人口の増減の境界である1を下回っている。

	平成16年	17	18	19	20	21	22
出 生 数	13,331	12,845	13,648	14,051	14,399	14,276	14,292
出 生 率	10.4	10.0	10.5	10.6	10.7	10.4	10.4
粗再生産率（合計特殊出生率）	1.24	1.19	1.26	1.29	1.32	1.31	1.32
総再生産率	0.60	0.58	0.61	0.62	0.64	0.63	0.64
純再生産率	0.60	0.57	0.61	0.61	0.63	0.63	0.63

注) 純再生産率の算出については、当該年の川崎市生命表を用いた。

資料：庶務課 「人口動態調査」より

### 表 9 全死亡及び三大死因による死亡率の推移

死亡数は、9,272人で前年より489人増加しており、死亡率は、6.7で前年から0.3増加した。

死因別では、第1位・悪性新生物、第2位・心疾患、第3・脳血管疾患となっている。

	平成12年	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
粗 死 亡 率	全 死 亡	560.1	570.9	570.0	584.2	580.6	622.8	614.6	628.9	643.4	642.4	672.7
	悪性新生物	182.5	189.6	195.4	189.0	198.4	207.1	208.9	206.7	203.8	211.2	210.9
	脳血管疾患	77.3	72.4	73.3	81.6	70.2	75.1	71.4	67.3	69.2	67.4	67.2
	心 疾 患	74.8	83.2	80.5	80.7	87.1	94.8	90.8	97.6	97.8	95.5	103.3
死 年 齢 調 整 率	全 死 亡	168.2	166.3	154.5	157.3	150.0	153.9	152.3	149.9	145.1	142.0	139.8
	悪性新生物	54.8	54.9	52.8	51.2	50.8	50.6	51.5	49.2	48.0	46.8	45.3
	脳血管疾患	18.5	16.5	15.1	16.6	13.6	14.4	12.7	12.3	12.1	11.4	10.9
	心 疾 患	17.7	20.0	18.9	18.5	19.4	21.0	18.8	19.4	18.1	18.5	17.4

注) 年齢調整死亡率の基準人口は昭和40年川崎市人口

資料：庶務課 「人口動態調査」より